

令和8年10月前半分青果物使用品名と産地(10/1～10/18)

～生産(地)の状況～

じゃがいも・玉ねぎ・人参は北海道産のものを使用する。じゃがいものメークイン(早生種)は、9月の雨が降る前に収穫が終わっているので、品質は問題なく収量もあがっている。空洞化も見られず、極端な価格変動はなさそう。玉ねぎは極早生、早生と大玉傾向で品質もよく、中生までは申し分ない。晩生の収穫が9月にずれこんだので、北海道の気候の影響で玉ねぎの葉が倒れるのが早かった。結果、小玉傾向。全体的にじゃがいもと玉ねぎは状況が良い。心配なのは人参である。北海道では7月から11月はじめまで人参の収穫があり、その後、千葉・徳島・九州の秋人参へと移行していく。しかし、今年は九州・四国の干ばつ影響で、播種や発育の遅れが顕著で、11月いっぱいには難しそう。そこにきて、国内3～4割の人参を生産している千葉県が大雨続きで予想以上にひどく、壊滅的状態となっている。現在の懸念は、11月中旬の秋冬人参の移行期に人参が確保できるかということである。今のところ、北海道産の人参を、その時期まで現地貯蔵して対応する方向で検討しているところ。今後の台風の動向によっては、秋野菜全般に影響を受けないかと心配している。大根は、阿蘇方面の高冷地産が出てくるが、品質はよさそうである。チンゲン菜が猛暑と干ばつの影響で異常な高値で推移している。給食費等へ影響があるのであれば、使用量を減らすことも考えてよいのではないかな。

葉物野菜は、連休前に価格がかなり高騰した。気温が高い日が続いていて、秋冬野菜はこれから作付けが始まるが、このところの気温が予想以上に下がったことで、成長しない状況も懸念される。関東方面の大雨と九州地区の収量不足が心配である。ハウス内の生育もよくなく、小松菜もあまり数量も出ていないが、給食優先で対応していく。白菜・レタスは長野産が中心だが、例年より早く数量が減っている。胡瓜は県内産が出ていて10月後半からは数量も増える見込みである。

果物については、みかんは順調に入荷中だが、小玉傾向である。

No	品	名	産	地				
1	じ	ゃ	が	い	も	北海道産		
2	さ	つ	ま	い	も	熊本県産		
3	人				参	北海道産		
4	キ		ャ		ベ	ツ	熊本県・九州・群馬県産	
5	玉			ね		ぎ	北海道産	
6	も	や	し	(	小	)	熊本市産	
7	も	や	し	(	大	)	大分県産	
8	ピ		ー		マ	ン	熊本県産	
9	赤	ピ		ー	マ	ン	熊本県・九州産	
10	ミ		ニ		ト	マ	ト	熊本県産
11	胡					瓜	福岡県・九州産	
12	ご			ぼ		う	鹿児島県・青森県産	
13	白			ネ		ギ	熊本県・九州・北海道産	
14	チ		ン		ゲ	ン	菜	熊本県産
15	小			松		菜	熊本市産	
16	に					ら	熊本県・宮崎県産	
17	セ			ロ		リ	長野県産	

No	品	名	産	地			
18	レ	タ	ス	長野県産			
19	洗	い	レ	ン	コ	ン	熊本市産
20	白		菜	長野県産			
21	大		根	熊本県・九州・青森県・北海道産			
22	な		す	熊本県産			
23	に	ん	に	く	青森県産		
24	生		姜	熊本県・長崎県産			
25	南		瓜	北海道産			
26	え	の	き	だ	け	長崎県産	
27	本	し	め	じ	福岡県産		
28	エ	リ	ン	ギ	長崎県産		
29	冬		瓜	熊本県・九州・岡山県産			
30	水	前	寺	菜	熊本県産		
31	み	か	ん	熊本市産			
32	葉	付	パ	イ	ン	フィリピン産	
33		柿		和歌山県産			

※産地は、天候等の影響で変更になる場合があります。